

取組名称	竜丘小学校の宝「自由画教育」への理解を深めてもらう活動
団体名	竜丘公民館 飯田市立竜丘小学校
代表者氏名	竜丘公民館長 田添 莊文
地区名	竜丘

**取組みの目的**

竜丘小学校では、大正期から昭和初期にかけて子どもの個性を尊重し感性を伸ばす「自由教育」が進められた。その中でも特に木下紫水が取り組んだ「自由画教育」は先駆的な取り組みとして全国的にも高い評価を得ている。

昨年度は、木下紫水が取り組んだ自由画教育についてまとめた子ども向け読本『木下紫水物語』を作成し、その読本を教材にして6年生を対象に自由画教育の学習を進めた。

そして、本年度は昨年度作成した『木下紫水物語』をさらに活用して、区民や竜丘小学校の子どもたちに「自由画教育」についての理解を深めてもらいたいと考えた。

**具体的内容**

- 読本『木下紫水物語』の小学校6年生の授業での活用
- 読本『木下紫水物語』を活用した学習会等の実施
- 竜丘小学校の「自由画考古室」、竜丘公民館の「ふるさと学習室」へ、「自由画教育」にかかわる資料（パネル）の掲示



説明 『木下紫水物語』勉強会(5月)



説明 「自由画教育」シンポジウム(11月)



説明 竜丘公民館「ふるさと学習室」内のパネル



説明 竜丘小「自由画考古室」内のパネル

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月7日 第1回児童自由画保存顕彰委員会小委員会 ・「木下紫水物語」勉強会の計画検討・展示内容について</li> <li>○ 4月20日 第2回児童自由画保存顕彰委員会小委員会 ・勉強会における自由画の展示について</li> <li>○ 4月25日 第1回児童自由画保存顕彰委員会 ・「木下紫水物語」勉強会の内容について</li> <li>○ 5月7日 「木下紫水物語」勉強会 会場・竜丘公民館 参加者25名</li> <li>○ 6月28日 第2回児童自由画保存顕彰委員会 ・講義 「自由画教育以前の木下紫水」 美博 榎村洋介学芸員</li> <li>○ 8月29日 第3回児童自由画保存顕彰委員会 ・自由画教育のシンポジウムの計画 ・自由画教育のパネルの制作について</li> <li>○ 11月4日 竜丘地区文化祭の展示の準備 自由画教育のパネルの展示</li> <li>○ 11月5日 竜丘小学校開校150周年記念シンポジウム ・「自由画教育の精神を後世につなぐ」 会場・竜丘小学校 参加者55名</li> <li>○ 11月27日 松本大学学生が竜丘小学校「自由画考古室」の見学のため来校。 ・自由画教育のパネルを使い説明する。</li> </ul>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度、公民館と竜丘小学校で協働して制作した『木下紫水物語』であるが、小学校の授業で活用され、その様子については児童自由画保存顕彰委員会で報告されている。子どもたちの感想からは自由画教育への理解が進んでいること、さらには木下紫水の生き方についても関心もたれていることが伺える。</li> <li>○『木下紫水物語』を活用した学習会、シンポジウムを開いた。今までも自由画教育に関わる講演会等を開いてきているが、今回は『木下紫水物語』が制作されたということで関心も高く、多くの皆さんに参加していただいた。『木下紫水物語』が予想以上に販売できている。(約80冊) 飯田市歴史研究所から歴研賞(著作賞)をいただいたことも大きかった。</li> <li>○『木下紫水物語』をもとに制作して作ったパネルは、常時、展示しておくことで多くの人の目にふれ、自由画教育に関心をもっていただいている。</li> </ul>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度制作した『木下紫水物語』の活用については、学習会で活用されたり、パネルにして多くの人に見ていただくなど、計画的に進められた。今後は、6年生の授業での活用をさらに充実させるとともに、区民を対象にした学習会などをさらに工夫したい。</li> <li>○今後の公民館の児童自由画保存顕彰委員会の活動としては、自由画教育や木下紫水にかかわる資料の整理と収集を、学校と協力して進めたい。</li> <li>○現在、竜丘小学校に保存されている自由画が飯田市指定文化財となるように、自由画の整理と保存活動を充実させていきたい。</li> </ul>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額(見込み)	278,905
	うち助成金(見込み)	278,905
主な経費内訳 (上位3項目)	『木下紫水物語』のパネルの制作費	278,905



取組名称	第3回飯田市ネクストステージ交流大会
団体名	プロ野球選手を招く会・飯田市少年野球指導者協議会
代表者氏名	池田 大介
地区名	飯田市

取組みの目的	子供たちに次へのステップとし中学で野球を続けていってもらいたい思いから企画しました。違う環境での野球、楽しさを伝えればと思います。 スポーツ人口が少なくなっている中、現在やっているスポーツを先へ繋いであげたい思いで運営しております。
具体的内容	子供たちが中学に行っても野球を続けて行ってもらいたいとの思いから、6年生を対象とした進学中学単位での交流戦を行いました。 飯田市で活動している少年野球チームがそれぞれの進学中学に分かれ交流戦を行う。閉会式には優勝・準優勝へ表彰、最優秀選手・優秀選手の表彰、球速上位2名への表彰、すべての子供たちへ記念メダルを各チーム指導者より授与した。 審判等では、日ごろ保護者が審判やボールボーイをしています、去年は中学生にお願いしましたが、今回は飯田高校野球部の方々に協力していただき、保護者にはゆっくり試合を見ていただく環境としました。飯田高校野球部のマネージャーさんがアナウンスを担当していただき盛り上げていただけました。



説明

閉会式後



説明

試合中



説明

優勝チーム



説明

メダル授与

取組の経過	<p>2019. 2. 10プロ野球選手を招く会発足、2019. 12. 14野球教室開催。  2020プロ野球選手を招き野球教室をしてあげる予定でしたが、県外からこの時期に講師を呼ぶことへの理解を得ることは難しいと考え、協力団体とも協議を積み重ね、何かしてあげようと12月13日にネクストステージ開催を決めました。コロナウイルス感染拡大に伴い学校も休校、野球ができる状況がなくなりました。感染防止対策をし、我慢を1番してきた子供たちの中でも、最上級生6年生に対して行うこととしました。  2021. 9コロナ状況が過去最多ととても県外から講師を呼ぶ状況になく予算集めや講師へのオファーも含め今判断しないと行えない為に厳しいと判断し野球教室を断念。  2021. 12. 12 第2回飯田市ネクストステージ大会を開催。  2022. 12. 11 第3回飯田市ネクストステージ大会を開催。</p>
取組の効果	<p>参加された子供、保護者、指導者の笑顔がいっぱいになったことや、楽しかったなどのお声も頂きました。  子供たちは日ごろ敵チームとして戦ってきた仲間と一緒に野球ができる楽しさや、緊張感もありましたが、メダル授与では、嬉しそうにメダルを掛け記念撮影をチーム同士や親御さんと嬉しそうに撮る姿をみて、大成功だったと思います。  中には中学と一緒に野球たろうなという声も出て、中学でも硬式クラブチームでも繋がっていくと思います。</p>
今後の取組	<p>少年野球、中学野球、高校野球、大学野球、社会人野球、プロ野球と繋がりを持ち野球を盛上げて行きたい。現在の各団体ごとの距離感が大きいと感じている。  特に少年野球に関しては当初のプロ野球選手を招く事により、目標や野球の楽しさを伝えていけたらと思います。</p>

○取組経費 (単位：円)

	事業費総額 (見込み)	314, 494
	うち助成金 (見込み)	296, 000
主な経費内訳 (上位3項目)	メダル	222, 000
	優勝・準優勝	56, 100
	最優秀選手賞・優秀選手賞・試合球	13, 000



取組名称	りんご並木70周年記念ジュースストラップ(水引・ひさかた和紙コラボ)
団体名	飯田市立飯田東中学校、(有)関島水引店、ひさかた和紙の会
代表者氏名	飯田東中学校長 賜 正俊、関島水引店 関島正浩、ひさかた和紙の会 牧内秀幸
地区名	東野、橋南、橋北、鼎、下久堅

取組みの目的	69年間、並木の精神「町を美しくするだけでなく、人の心を美しくしたい」を大事に先輩方が地域の方とともに守り続けてきた「りんご並木」を、70周年の節目を迎えるに当たり、多くの方に知ってもらいたい。 総合的な学習の時間で学んだ「飯田の宝」の学習の成果を、後輩に残すとともに、飯田市民をはじめ、より多くの方に飯田のよさを伝えていきたい。 これらの願いを実現し、ふるさと飯田を誇れる生徒の育成を目指したい。
具体的内容	飯田東中学校→りんご並木で収穫されたりんごでつくりりんごジュースの販売をしていく。ひさかた和紙の会・関島水引店の協力のもと、しおりや水引の製作を行う。 ひさかた和紙の会→中学生による紙すき体験。すいた和紙を使って、中学生がデザインしたしおりの製作のための指導・和紙づくりの学習会・講演会 (有)関島水引店→中学生がデザインしたりんごの水引づくり。それを使ったストラップづくり。製作のための指導や補助。



説明

「飯田の宝」講演会



説明

指導を受けながら紙すき体験



説明

関島水引さんによる講習会



説明

完成したジュースストラップ

取組の経過	<p>4月:「飯田の宝」、今年度の課題の決めだし  5月:「輝け飯田の宝」オリエンテーション  6月3日:飯田の宝講演会～地元の伝統産業を学ぼう～  9月22日:学芸会で飯田の宝についての学習発表  9月30日～:りんご並木70周年記念 りんごジュースストラップ(水引×ひさかた和紙コラボ)のデザイン募集・決定  11月8日:1日総合 関島水引店による水引づくり指導。ひさかた和紙による紙すき体験、和紙づくりや歴史の学習会  以降:記念品の製作  12月6日:ひさかた和紙でつくられたしおりに水引をつける仕上げ、りんごの水引にストラップをつける仕上げ作業開始  1月30日:本年度分の製作終了  2月:関島水引・ひさかた和紙へお礼状作成  3月13日:送別集会で1,2年生へ引き継ぎ</p>
取組の効果	<p>○生徒の意識の変容(生徒の学習記録より)  ・僕は初めて水引をやりました。手先はそんなに器用ではないのですが、スタッフの方々が丁寧に教えてくださったので、うまくつくることができました。あわじ結びを2本から5本へと本数を増やしていき、作れたときの達成感を得ました。水引で感じた魅力を伝えていきたいです。  ・楮畑見学で、楮が長くて驚きました。和紙の歴史は古く、昔から作られていて、一つ一つ手作りで丹精込めてつくられていて、下久堅の伝統が受け継がれ、絶やすことなく今も続けているのがすごいなと思いました。紙すき体験では分担してつくりましたが、うまく紙がつくれてよかったです。  ※体験で得られた飯田の宝のすごさを感じる事ができた。</p>
今後の取組	<p>・りんご並木70周年を迎える後輩たちに、3学年が総合的な学習の時間で学んできた「飯田の宝」を残したいという思いで、りんごジュースストラップを作成した。その思いを受け継いで、りんご並木70周年記念のジュースストラップを全校で製作し、地域の伝統工芸を身近に感じられるようにする。  ・「飯田水引」や「ひさかた和紙」を紹介するパンフレットを作成し、令和5年度行われる地域行事やふれあいアップルタウン等でりんごジュースストラップの販売とともに配布することで、地域の方に飯田の宝を伝えていく。  ・ひさかた和紙を使ったジュースラベルの作成やジュース瓶に水引の飾りをつけるなど、総合的な学習の時間を使って、その活用法を考えていく。  ・りんご並木70周年記念式典で、作成したストラップを記念品として配布し、より多くの方々にりんご並木や飯田水引、ひさかた和紙を知っていただく。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(令和4年度分見込み)	178,938円
	うち助成金(令和4年度見込み)	178,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	水引制作(材料費、講師代等)	100,500円
	ひさかた和紙製作(紙すき、講師代等)	28,500円
	和紙しおり印刷代	30,000円